

共立女子大学におけるグラフィックデザイン教育の 実践 : 神保町周辺活性化デザイン計画 (提案) 2016

著者名(日)	田中 裕子, 林田 廣伸
雑誌名	共立女子大学家政学部紀要
巻	64
ページ	93-107
発行年	2018-01
URL	http://id.nii.ac.jp/1087/00003195/

共立女子大学におけるグラフィックデザイン教育の実践 ——神保町周辺活性化デザイン計画(提案)2016——

A Graphic Design Education Initiative at Kyoritsu Women's University :
—Proposal of Jinbocho Area Activation Design Plan 2016—

田中裕子¹、林田廣伸¹

Yuko TANAKA, Hironobu HAYASHIDA

要旨

共立女子大学家政学部建築・デザイン学科デザインコースのグラフィックデザイン演習Ⅲにおいて、「神保町周辺活性化デザイン計画2016」をテーマにデザインプロジェクトに取り組んだ。このプロジェクトはデザインコースの学生によるデザイン開発と提案が目的であり、最終的な到達点として神保町への顧客誘致を狙うものである。中間・最終発表会では、神保町周辺の企業、大学関係者、千代田区役所の方々にご臨席いただいた。大学祭および千代田区図書館において成果をまとめたパネルを展示し、作品報告冊子をそれぞれの展示会場で配布した。本稿はグラフィックデザインの教育活動報告である。

Summary

In the Practice in Graphics Design III, a design course offered by the Department of Architecture and Design at Kyoritsu Women's University Faculty of Home Economics, we undertook a design project focusing on the theme of "Jinbocho Area Activation Design Plan 2016." The project in the design course was aimed at helping students develop and propose designs toward the ultimate goal of

attracting visitors to the Jinbocho area. Interim and final student presentations were attended by guests from firms in the Jinbocho area, university officials, and municipal staff from the Chiyoda ward office. Panels summarizing the findings were displayed at the University Student Festival and in the Chiyoda Public Library, and report booklets were distributed at each of these exhibition venues. This paper presents a report of these activities.

1. はじめに

共立女子大学が拠点をおく神保町は、世界一の古書店街として知られている。この神保町をより活気ある街にするために、独自の価値を打ち出し、眠っている宝を再発見するなど、人を呼ぶ活力となるアイデアが求められている。

共立女子大学家政学部建築・デザイン学科デザインコース(以下「当デザインコース」)では、4年次配当のグラフィックデザイン演習Ⅲにおいて「神保町周辺活性化デザイン計画2016」として、6チームに分かれて神保町周辺の活性化につながるプロジェクトを提案した。①神保町周辺水路開発クルージング・プロジェクト②共立講堂復活ライブ・プロジェクト③神保町サテライトラジオ設立・プロジェクト④神保町周遊

1. 共立女子大学 家政学部 建築・デザイン学科

ミニバス・プロジェクト⑤神保町ウォーキング J シューズ開発・プロジェクト⑥神保町個人飲食店応援・プロジェクトの6プロジェクトである。本稿では、デザインコースの学生が取り組んだ実践学習について、その過程と成果を報告する。

2. デザインコースのカリキュラム

当デザインコースは、主にプロダクトデザインとグラフィックデザインの研究分野で構成されており、豊かで高度な「知と女性らしさの溢れる感性」を養うことを目標に、日々研究・教育が行われている。1年次から3年次までに、デザインを学ぶための周辺基礎知識からはじまり、実践的な専門分野へと順次取り組む。総仕上げとなる4年次には、設定されたテーマに基づいて企画・実施した市場調査を行い、その解決策としてデザイン提案を行う演習に取り組む。グラフィックデザイン演習Ⅲはグラフィックデザイン分野における演習の総仕上げとしての4年次配当の必修科目授業である。

3. デザインプロジェクトの概要

グラフィックデザイン演習Ⅲの演習課題「神保町周辺活性化デザイン計画 2016」は、2016年4月から7月末までの計15回にわたり授業を行った。34名の履修学生が6チームに分かれ、「遊び・夢・ロマンの心、神保町」の戦略ラインのもと、それぞれ個別デザインプロジェクトに取り組んだ。

<学生が取り組んだ6つのプロジェクト>

神保町周辺活性化デザイン計画 2016

- ①神保町周辺水路開発クルージング・プロジェクト
- ②共立講堂復活ライブ・プロジェクト
- ③神保町サテライトラジオ設立・プロジェクト
- ④神保町周遊ミニバス・プロジェクト
- ⑤神保町ウォーキング J シューズ開発・プロジェクト
- ⑥神保町個人飲食店応援・プロジェクト

<戦略ライン>

遊び・夢・ロマンの心、神保町

4. デザインプロジェクトの目的

「神保町周辺活性化デザイン計画」はデザインコースの学生によるデザイン開発と提案が目的であり、最終的な到達点としては神保町への顧客誘致を狙う。その為、学生の最終提案・発表会後デザイン内容の精査を経て、実現可能と思われる案件に関しては、関係者による協議を行い、実現を目指している。

5. デザインプロジェクトの工程

履修生は6つのチームに別れ(1チーム5~6名、計34名)、全体を統括するプロデューサーをはじめ、ロゴやシンボルマークなどのアイテムのデザインや、ポスターやウェブといった各媒体のデザインなど、それぞれに役割を担いチームで作品制作を行った(表1)。

<1チーム5~6名で構成する役割>

チームリーダー(プロデューサー):1名

ロゴ・シンボルマークデザイナー:1名

ポスターデザイナー:1名

シンボル(キャラクター)デザイナー:1名

イベントデザイナー:1名

Webデザイナー:1名

はじめに市場調査としてチームで神保町および個別テーマについて歴史研究、また実地見学による立地・環境の調査を行い、神保町周辺の理解を深め、そこから見出した課題に対してチーム独自に戦略・コンセプトを固めていく(写真1、2)。全15回授業のうち約2/3をプレゼンテーションやチーム内の意見交換、および教員の指導を通じ、戦略・コンセプト、ロゴ・シンボル(キャラクター)・キービジュアル等のブラッシュアップを重ねた。11回目の授業の中間発表会以降は、最終発表会に向けて、イベント、グッズ、WEBサイト等の提案制作に入り、最終的に提案作品等をコンセプトボードにまとめた。

共立女子大学におけるグラフィックデザイン教育の実践

表1 プロセス (2016年度 グラフィックデザイン演習Ⅲシラバス)

回	月日	課題	内容・課程	備考
1	4/15	ブリーフィング(この演習の目的) 神保町の把握(地域を知る) 学生が取組む6つのテーマ 1. 神保町周辺水路開発クルージング 2. 共立講堂復活ライブ 3. 神保町書店街サテライトラジオ設立 4. 神保町周辺ミニバス 5. 神保町ウォーキングJシューズ開発 6. 神保町個人飲食店応募 の各テーマをグループで選択する。	演習方針解説 神保町活性化デザイン計画プロジェクト チーム分け/1チーム5~6名で構成 チームリーダー(プロデューサー):1名 ロゴ・シンボルマークデザイナー:1名 ポスターデザイナー:1名 シンボル(キャラクター)デザイナー:1名 イベントデザイナー:1名 Webデザイナー:1名 5~6名×6チーム=34名	シラバス配布 役割を分担
2	4/22	神保町研究 1. 神保町の歴史 2. 各テーマの探求(立地と環境の把握)	チーム単位による研究	印刷物やネット上の資料収集。その後、書類として作成。
3	4/29	実地調査 各テーマの探求(立地と環境の把握)	チーム単位による調査 調査方法の研究	印刷物やネット上の資料収集。その後、書類として作成。
4	5/6	実地調査発表	各チームで発表して、情報を全員がシェアする。	スケッチや書類による発表
5	5/13	戦略・コンセプトメイキング 4 Steps Planning Methods を使用 キーメッセージ、キービジュアルの開発	独自の戦略・コンセプトの確立 アイデアのラフスケッチ	スケッチや書類制作 コンセプトの設定自体にアイデアが必要で重要。
6	5/20	コンセプトメイキングの発表	全員がプレゼンテーション 聴いている学生はコメントする。	スケッチや書類による発表(模造紙使用可)
7	5/27	コンセプトに添ったロゴ・シンボル(キャラクター)・キービジュアルのアイデアスケッチ制作	各自同時並行作業	意欲あるアイデアスケッチ
8	6/3	ロゴ・シンボル(キャラクター)・キービジュアルのアイデアを発表	アイデアを発表 発表の素材は限定しないが、理解してもらうにはどうしたらいいか考える。	意欲あるアイデアスケッチ
9	6/10	ロゴ・シンボル(キャラクター)・キービジュアル等を有機的にそれぞれが制作	各チームで作業分担を決め、制作に入る事。	イラストレータやフォトショップ使用
10	6/17	ロゴ・シンボル(キャラクター)・キービジュアル等を有機的にそれぞれが制作	各チームで作業分担を決め、制作に入る事。	イラストレータやフォトショップ使用
11	6/24	制作中間発表 授業見学会(千代田区役所の方々、地域の方々ご来校)	全員がプレゼンテーション 聴いている学生はコメントする。	制作物を簡易プリントして発表
12	7/1	制作されたロゴ・シンボル(キャラクターなどをコンセプトボードにまとめる。	各チームで作業分担を決め、制作に入る事。	イラストレータやフォトショップ使用
13	7/8	制作されたイベント、グッズ提案などをボードにまとめる。	各チームで作業分担を決め、制作に入る事。	イラストレータやフォトショップ使用
14	7/15	1. コンセプトボード(ポスター) 2. ロゴ・シンボル(キャラクター)提案 3. イベント提案ボード 4. グッズ提案(プロトタイプ可) 5. 私たちの考える神保町マップ	各チームで作業分担を決め、制作に入る事。	イラストレータやフォトショップ使用
15	7/29	完成発表、講評会(千代田区役所の方々、地域の方々ご来校)	全員がプレゼンテーション 聴いている学生はコメントする。	プレゼンテーションの準備と時間配分



写真1 歴史研究および立地・環境調査をまとめる学生



写真2 中間プレゼンテーションに向けて模造紙にコンセプトをまとめる学生

<最終発表会におけるコンセプトボードの構成>

- ・コンセプト
- ・キービジュアル(ポスター)
- ・ロゴ・シンボル(キャラクター)提案
- ・イベント提案
- ・グッズ、WEBサイト提案(プロトタイプ可)
- ・私たちの考える神保町マップ

6. デザインおよびキーメッセージ

各プロジェクトにおけるデザインの概要は、次の通りである。

①神保町周辺水路開発クルージング・プロジェクト(図1)

水路に人を呼び、かつての賑やかな水路を復活させるため、バーチャルリアリティー映像を駆使した水上バスで、隅田川、神田川、日本橋川を巡るクルージングを提案。ロゴマーク、水上バス、停留所、チケット、制服などをデザインした。

キーメッセージ:「船に乗り 時空を超える 川の旅」

②共立講堂復活ライブ・プロジェクト(図2)

地域活性化を目的に、70年代にフォークソングの聖地として親しまれた共立講堂を復活し、音楽で次世代につなげるライブ開催を提案。パンフレット、チケット、うちわ、Tシャツなどをデザインした。

キーメッセージ:「音のバトンでつなぐ」共立講堂復活ライブ」

③神保町サテライトラジオ設立・プロジェクト(図3)

神保町周辺の7つの大学の学生が、放送局「神保町サテライトラジオ」を運営し、各校の強みを生かした番組配信することを提案。放送局のロゴ、キャラクター、グッズ、ウェブサイトなどをデザインした。

キーメッセージ:「聞こう・学ぼう・遊ぼう・じんぼう」

④神保町周遊ミニバス・プロジェクト(図4)

神保町の7つ魅力(食・遊・読・学・奏・観・憩)を設定し、7つのエリアの周遊バス「神保町周辺なないろバス」とバスルートを提案。バス、キャラクター、バス停、フリーバス、スマートフォンアプリ、パンフレット、マップなどをデザインした。

キーメッセージ:「7つの魅力をつないで走る」

⑤神保町ウォーキング J シューズ開発・プロジェクト(図5)

50代以上の中高年に向けて、歴史あふれる神保町をより知っていただくために、ウォーキングシューズとウォーキングルートを提案。3種類の歩きやすさを重視したデザイン性のあるシューズ、ロゴマーク、ウォーキングマップ、ポスターなどをデザインした。

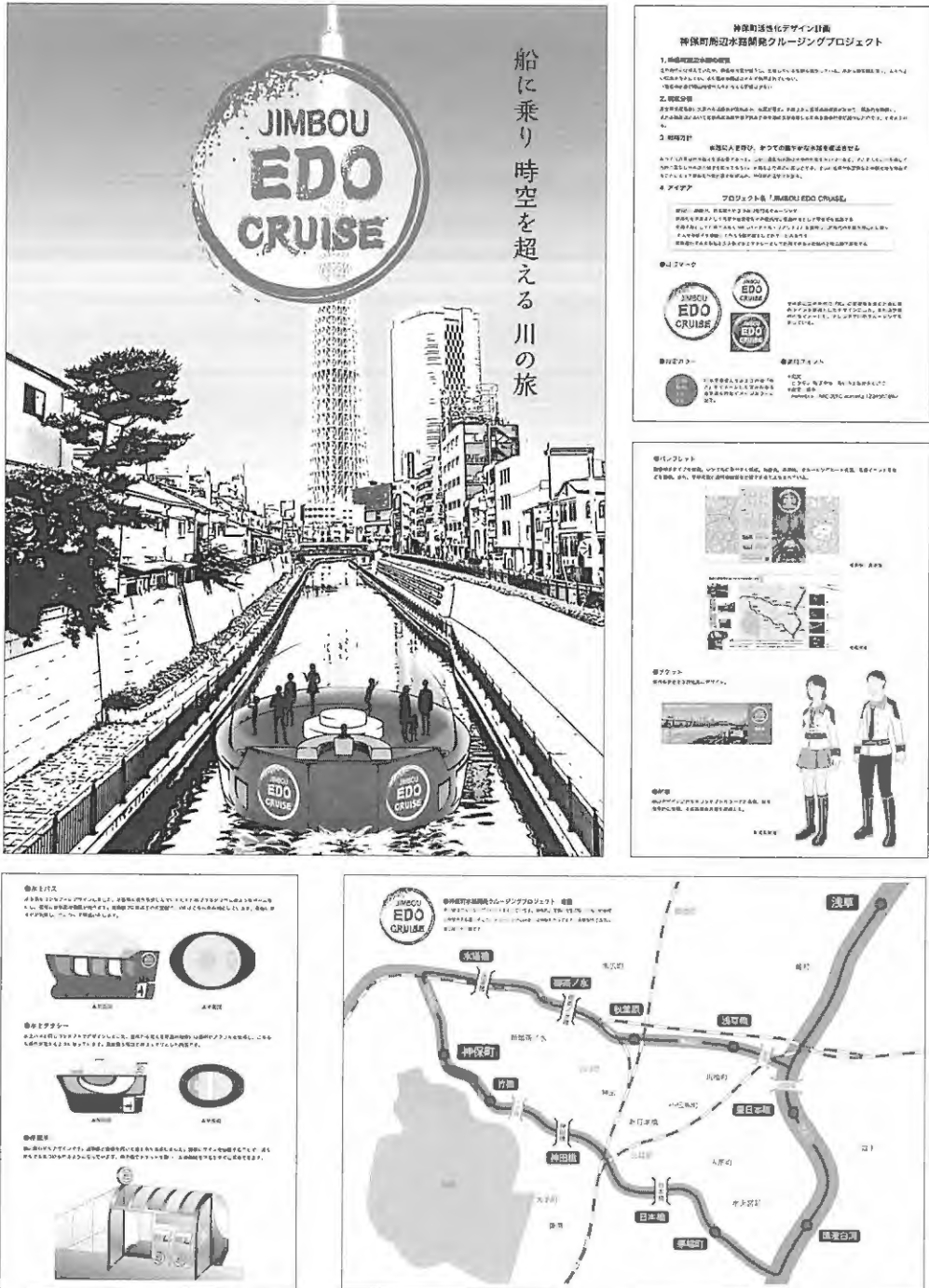


図1 神保町周辺活性化デザイン計画 2016
 ① 神保町周辺水路開発クルージング・プロジェクト
 キーメッセージ：「船に乗り 時空を超える 川の旅」

音のバトンをつなぐ

共立講堂 復活ライブ 2017

さあごまご | ぼんぼんライブ

2017年4月 日 [日]

会場 共立講堂
開場 17:00 開演 18:00
入場無料・空席あり

先着 100名様を無料で招待致します。
詳細、応募票はこちらまで
ネットでアクセス又は電話にて応募してください。
TEL 031-511-1111
<http://www.kyuikyo.ac.jp>

応募開始：月16日 10:00～
※100名先着申し込みを過ぎますのでご注意ください。
チケットは販売致しません。

主催 | 共立女子大学 企画制作 | 共立講堂復活ライブ実行委員会

神保町周辺活性化デザイン計画
「共立講堂復活ライブプロジェクト」

1. 共立講堂の現状

開業年月日	共立講堂	〒252-0292 神奈川県横浜市中区神保町1-1-1
種別	音楽演奏場	〒252-0292 神奈川県横浜市中区神保町1-1-1
開業年月日	共立講堂	〒252-0292 神奈川県横浜市中区神保町1-1-1
開業年月日	共立講堂	〒252-0292 神奈川県横浜市中区神保町1-1-1
開業年月日	共立講堂	〒252-0292 神奈川県横浜市中区神保町1-1-1
開業年月日	共立講堂	〒252-0292 神奈川県横浜市中区神保町1-1-1

2. 現状分析

共立講堂の現状を調査し、現状を把握し、今後の活性化に向けた取り組みを提案する。

3. 経緯

共立講堂の現状を調査し、現状を把握し、今後の活性化に向けた取り組みを提案する。

4. アイデア

「音のバトンをつなぐ」共立講堂復活ライブ

● ロゴマーク

ロゴマークは、共立講堂の歴史と文化を表現し、現代のデザイン感覚を取り入れたデザインです。また、視覚的に訴求力のあるデザインを提案します。

● 指定カラー

Light Gray

Light Gray

Dark Gray

Dark Gray

指定カラーは、共立講堂のイメージカラーである白と黒を基調とし、アクセントとして指定カラーを使用します。

● イベント案

<企画>

共立講堂の歴史と文化を表現し、現代のデザイン感覚を取り入れたデザインです。また、視覚的に訴求力のあるデザインを提案します。

<企画>

共立講堂の歴史と文化を表現し、現代のデザイン感覚を取り入れたデザインです。また、視覚的に訴求力のあるデザインを提案します。

● イベント案

<企画>

共立講堂の歴史と文化を表現し、現代のデザイン感覚を取り入れたデザインです。また、視覚的に訴求力のあるデザインを提案します。

<企画>

共立講堂の歴史と文化を表現し、現代のデザイン感覚を取り入れたデザインです。また、視覚的に訴求力のあるデザインを提案します。

● 販売グッズ案

パンフレット

共立講堂の歴史と文化を表現し、現代のデザイン感覚を取り入れたデザインです。また、視覚的に訴求力のあるデザインを提案します。

ポスター

共立講堂の歴史と文化を表現し、現代のデザイン感覚を取り入れたデザインです。また、視覚的に訴求力のあるデザインを提案します。

● 販売グッズ案

グッズ

共立講堂の歴史と文化を表現し、現代のデザイン感覚を取り入れたデザインです。また、視覚的に訴求力のあるデザインを提案します。

グッズ

共立講堂の歴史と文化を表現し、現代のデザイン感覚を取り入れたデザインです。また、視覚的に訴求力のあるデザインを提案します。

図2 神保町周辺活性化デザイン計画 2016
② 共立講堂復活ライブ・プロジェクト
キーメッセージ：「音のバトンをつなぐ」共立講堂復活ライブ」



図3 神保町周辺活性化デザイン計画 2016
 ③ 神保町サテライトラジオ設立・プロジェクト
 キーメッセージ：「聞こう・学ぼう・遊ぼう・じんぼう」

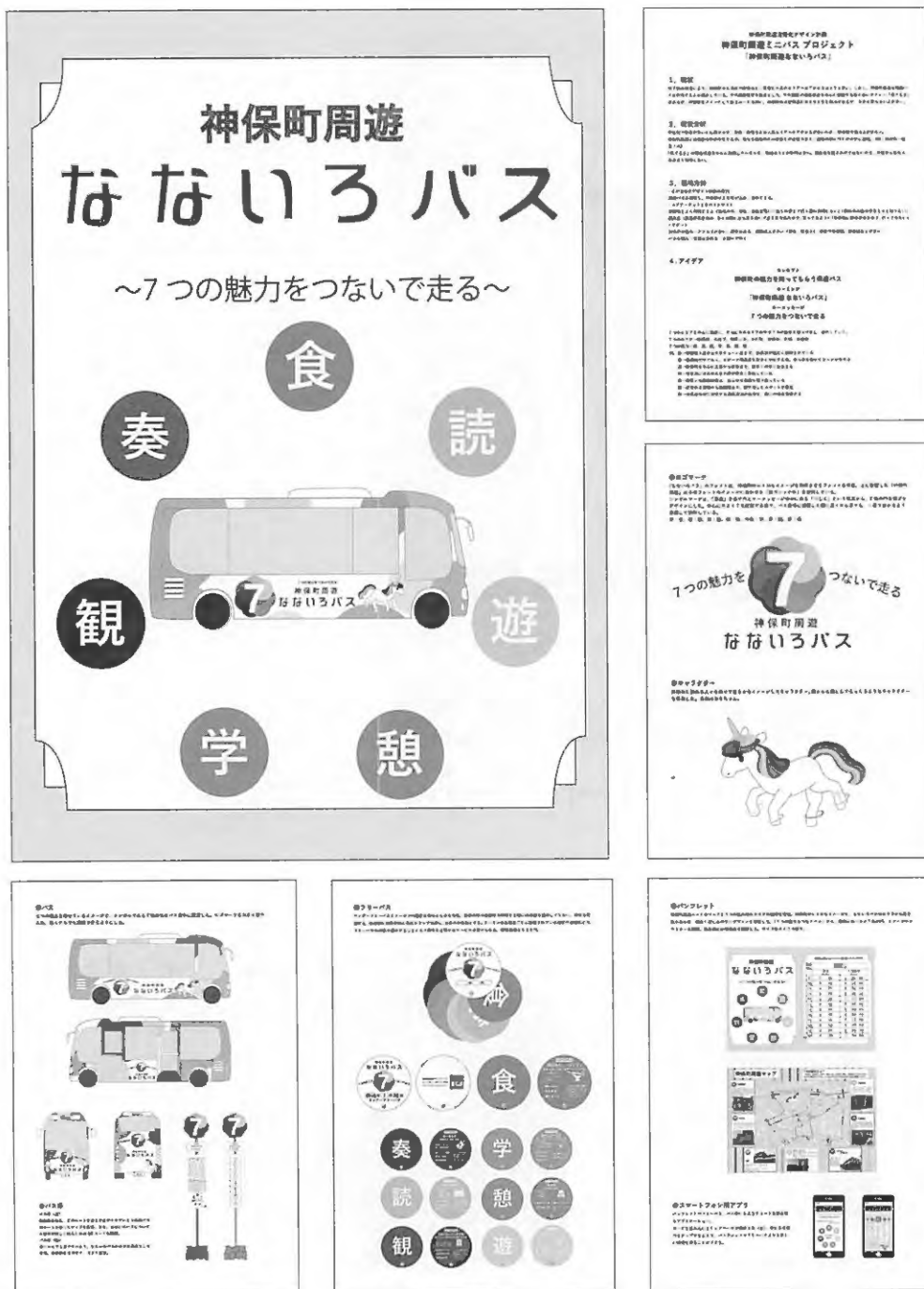


図4 神保町周辺活性化デザイン計画2016
 ④ 神保町周遊ミニバス・プロジェクト
 キーメッセージ：「7つの魅力をつないで走る」

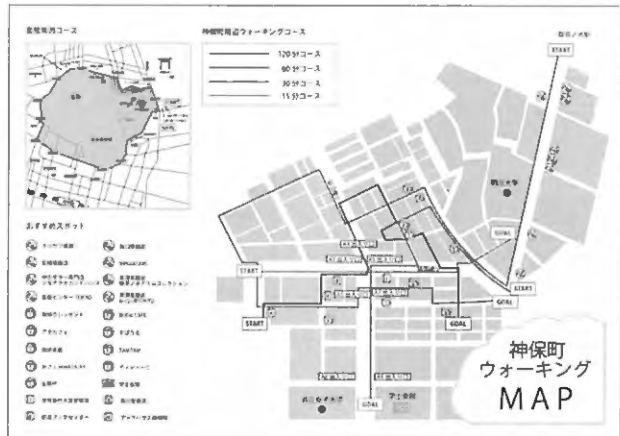


図5 神保町周辺活性化デザイン計画 2016
 ⑤ 神保町ウォーキング J シューズ開発・プロジェクト
 キーメッセージ:「足取り軽やか 神保町」



図6 神保町周辺活性化デザイン計画 2016

⑥ 神保町個人飲食店応援・プロジェクト

キーメッセージ:「神保町でごはん! モリモリモーニング! ランランランチ! イイナイイナディナー!」

キーメッセージ:「足取り軽やか 神保町」
⑥神保町個人飲食店応援・プロジェクト(図6)
チェーン店では味わえない個人店ならではの味と店員の温かみを知ってもらうこと、そして神保町個人飲食店を盛り上げることを目的に、個人飲食店連合会の結成を提案。ロゴマーク、ジャンル別のピクトグラム、食べ歩きマップ等をデザインした。

キーメッセージ:「神保町でごはん! モリモリ モーニング! ランランランチ! イイナイイナイデザイナー!」

7. 中間発表会、最終提案・発表会

7.1. 発表会概要

学生の神保町理解と大学の地域貢献を目的に、中間発表会、最終提案・発表会を行った(写真3、4)。

中間発表会:日時・場所:2016年6月24日(金) 10:30~12:20 共立女子大学 神田一ツ橋キャンパス 本館10階1010 地域参加者12名

最終提案・発表会:日時・場所:2016年7月29日(金) 10:00~12:20 共立女子大学 神田一ツ橋キャンパス 本館10階1010 地域参加者30名

2016年7月29日の最終提案・発表会の当日は、古書店・新刊書店・出版社・スポーツ店・

飲食店・メディア媒体・金融機関等、神保町およびその周辺で事業を営む企業経営者、大学関係者、千代田区職員など、およそ30名の方々に参観いただいた。各デザイン計画について活発な意見・感想をいただいた。

7.2. 最終提案・発表会における臨席者コメント

最終提案・発表会の参観者の意見や感想の一部をここに抜粋する。

①神保町周辺水路開発クルージング・プロジェクト

・非常におもしろい企画で、時空を超えるという発想がよかったです。ルートは観光協会が行っているさくらまつりなどを参考にすると、より現実的になると思いました。

・現在東京の水路活用が課題になっていますが、景観が寂しい所でVRを活用するという考えはおもしろかったです。また、水路だけでなく水運としての研究を進めて頂きたいです。

②共立講堂復活ライブ・プロジェクト

・東京は現在ホール不足なので、共立講堂が有料で利用できるようになるといい。また、座席があるのでそのメリットを使った案があるといい。

・神田の特徴である楽器・レコード・本の3つに共通しているのは「言葉と音楽」なので、



写真3 中間発表会の様子



写真4 最終提案・発表会の様子

- さだまさし×ミスターチルドレンや、さだまさし×スガシカオのアーティストの出演が
いいと思う。
- ・共立講堂はフォークシンガーの聖地なので、
長渕剛×ゆずの共演の方が話題性や意味が
ある。
- ③神保町サテライトラジオ設立・プロジェクト
- ・“ネットラジオ”という古さと新しさの融合
が神保町に合っている。喫茶店やお店で朝か
ら晩までこのラジオを流しっぱなしにすれ
ば地元の人もお客さんも神保町の情報を知
ることができる。
 - ・インターネットラジオは競争力が高いため、
このラジオを選んで聴いてもらうための工夫
や、海外向けにする工夫が必要。
- ④神保町周遊ミニバス・プロジェクト
- ・この路線バスの発想が大変完成度が高くびっ
くりしています。千代田区で行われる桜祭り
に際して毎年2日間無償で運行しているバス
があるのですが、それをさらにお洒落に作っ
たものだと思います。
 - ・ルートが神保町で生活している人の中では生
活圏に一貫性がないように思えるので、ルー
トを用途別にする、ターゲットにどのような
メリットがあるかなどを考えると、とても使
い勝手の良いバスになるのではないかと思
いました。
- ⑤神保町ウォーキング J シューズ開発・プロジ
ェクト
- ・ウォーキングシューズをいくらかで販売するつ
もりなのか。ガッツリ歩くようなデザインな
ので古書店街などを歩く際にはもう少し落ち
着いたデザインが良いのではないか。
 - ・マップにもっとお店をのせていくべきだ。マ
ップに健康促進のプランを加えたら中高年の
健康促進に貢献できるのではないか。
- ⑥神保町個人飲食店応援・プロジェクト
- ・神保町の個人飲食店に着目し連合会にするア
イデアが良い。個人飲食店を紹介し応援す
ることは町を盛り上げていくことにもつながり、

商業の観点から見ても現実的で面白い。

- ・毎月パンフレットを発行するのはコストが掛
かるため、インターネットも活用した方がい
い。また、マップが寂しいので飲食店に限ら
ずスポンサーを集めマップに大きく表示す
るのも手だと思ふ。

7.3. 最終提案・発表会終了後における学生チ ームコメント

最終提案・発表会終了後の、学生チームの感
想をここに抜粋する。

- ①神保町周辺水路開発クルージング・プロジ
ェクトチーム
- 今回の授業で神保町だけでなく、東京の川に
ついて調べた。実際に図書館、博物館に調査に
行き東京の川の歴史に触れ、かつて賑わって
いた東京の川を復活させようと企画を考えて取り
組んだ。今回の授業はチームで調査し、様々な
案を考えデザインを形にしていくという経験が
できた。神保町の歴史とデザイン2つの面で勉
強になった。
- ②共立講堂復活ライブ・プロジェクトチーム
- 共立講堂を利用し、講堂の復活と神保町の活
性化に繋がるようなテーマを決めるところから
スタートした。背景として共立講堂の歴史を知
り、さらに次世代へと受け継いでいくことをイ
メージしながら企画やデザインをした。多くの
修正や案の練り直しがあり、チームで協力しな
がら1つの形にできたことで大変達成感があっ
た。
- ③神保町サテライトラジオ設立・プロジェクト
チーム
- 神保町の歴史と現状を元に、過去を生かした
戦略“学生がラジオを運営する”として取り組み、
インサイトを常に考えることでサテライトラジ
オを使って神保町をどのように活性化させられ
るかという課題の解決を図った。チーム全員が
一切の妥協をせずビジュアルを作成し、協力し
合ったことで、より想像しやすく実現可能な計
画提案になった。

④神保町周遊ミニバス・プロジェクトチーム

神保町の活性化という事で、街にどんな魅力があるのかを常に考えながら制作した。この課題を通して、デザインの意図や与える影響をしっかり考える必要がある事と、事業を開発する大変さを学んだ。ただ自分の通う学校があるだけだった場所が、実は多くの魅力を持った土地だということを知ることができ、大変良い機会であった。

⑤神保町ウォーキング J シューズ開発・プロジェクトチーム

ウォーキングシューズの開発という全く経験のないことで試行錯誤しながら取り組んだ。神保町を活性化させるにはというもうひとつのテーマと組み合わせていくことが困難であった。しかし、最終的には神保町を明るく照らしていくようなシューズデザインやマップの開発が出来き、神保町への興味・関心が高まった。

⑥神保町個人飲食店応援・プロジェクトチーム

チームの皆で何件かの個人飲食店に足を運び食事をしたことで、チェーン店にはない雰囲気や味、人のあたたかさを知ることができた。この良さを最大限に伝えるパンフレットを制作するために各々が役割を果たし、皆で協力したからこそ制作することのできたデザインだと考えられる。非常に良い経験であった。

深いので、できることならぜひ実現してもらいたい。」など、多くのフィードバックがあった。

8.2. 学園祭展示におけるアンケート調査

2016年10月15日・16日開催の共立祭で当プロジェクトの作品パネル展示を行い、来場者にアンケートを実施した(図9)。

来場者は合計170名でその所属は在校生26名、一般49名、卒業生22名、学生家族46名、学内教員8名、その他19名であった。本展を知ったきっかけについては、学内ポスター16名、パンフレット22名、たまたま73名、その他23名であった。



写真5 共立女子大学の学園祭（共立祭）パネル展示

8. プロジェクトの成果

8.1. 作品展示

2016年10月15日・16日開催の共立女子大学の大学祭(以下「共立祭」)、および平成29年1月23日から3月25日まで千代田区図書館においてパネル展示『共立女子大学生が考えた神保町周辺活性化デザイン計画提案展示』を行い、成果を広く公開した(写真5、6)。前述の6チームのプロジェクトを一つにまとめた「神保町活性化デザイン計画マップ」も制作し展示した(図7)。また、学生編集による作品報告冊子を制作し、展示会場で配布した(図8)。展示を見た方から「展示されている計画はどれも興味



写真6 千代田区図書館「共立女子大学生が考えた神保町周辺活性化デザイン計画提案展示」

アンケートの設問「グラフィックデザイン『神保町周辺活性化デザイン計画』で良かったチームに○をして下さい。(最大3つまで)」に対する回答は以下の結果であった。

【共立祭アンケート 集計結果】

- ①神保町周辺水路開発クルージング・プロジェクト：93票
- ②共立講堂復活ライブ・プロジェクト：63票
- ③神保町サテライトラジオ設立・プロジェクト：60票
- ④神保町周遊ミニバス・プロジェクト：83票
- ⑤神保町ウォーキング J シューズ開発・プロジェクト：61票
- ⑥神保町個人飲食店応援・プロジェクト：87票

アンケート中の設問「個々の作品や展示内容などについてご感想をお願いいたします」という項目に対する回答を以下に抜粋する。

【共立祭アンケート 感想】

- ・フォークの聖地と呼ばれている頃を知っているものとしては、まず企画がうれしかった(共立講堂復活ライブ)。
- ・学生主体になって活動できるのがよいと思った。聴いてみたいと思った(神保町サテライトラジオ設立)。
- ・ガッツリ歩きたい人向けのスポーティなデザインをはいてみたい。しっかり調べていると思った(神保町ウォーキング J シューズ開発)。
- ・発想が面白い。水上タクシーのデザインも未来的で楽しい(神保町周辺水路開発クルージング)。
- ・今までにない発見が出来そうで良いと思います。これからの外国人観光客は団体より個人が多くなると聞いていますので、多言語対応もしてみると良いと思います(プロジェクト全体)。
- ・地域の活性化に対する熱意を感じます。ぜひ

がんばって続けていただきたいです(プロジェクト全体)。

8.3. 「千代田学」事業報告会

本教育研究の「神保町周辺活性化デザイン計画2016」はグラフィックデザイン演習Ⅲとして2016年度に「千代田学」支援を得て行ったプロジェクトである。

2017年4月5日(水)に千代田区役所本庁舎1階区民ホールにて開催された「千代田学」事業報告会において、当プロジェクトについて教員(林田・田中)によるプレゼンテーションを行った(写真7)。事業報告会には区長、副区長、教育長、区職員、区民、来庁者等が参加し、プロジェクトについて感想をいただいた。



写真7 「千代田学」事業報告会の様子

9. 今後の展開

本デザインコースでは、これからも地域・社会との連携を深め、デザインを通して学生の柔軟な発想を発信することで、周辺の活性化に役立つことができるよう、取り組みを続けていきたい。2017年度は「神保町周辺活性化デザイン計画2017」とし、「神保町 Watch観光としての神保町」をテーマに神保町周辺の観光について取り組む予定である。



図7 神保町周辺活性化デザイン計画 2016 マップ



図8 展示会場で配布した冊子「神保町周辺活性化デザイン計画 2016」

平成 28 年度共立女子大学 家政学部 建築・デザイン学科 4 年デザインコース合同「展(ドッてん)」アンケート

※日は【展(ドッてん)】へお越しいただきありがとうございます。
 皆さまのご意見を今後の作品制作の参考にさせていただきます。アンケートにご協力をお願い致します。

●プロダクトデザイン「かじる日本」で良かった作品の名前を記入して下さい。(最大3つまで)
 () () ()

●グラフィックデザイン「神保町周辺活性化デザイン計画」で良かったテーマに○をして下さい。
 (最大3つまで)
 神保町周辺水路開発クルージング 神保町周辺ミニバス
 共立講堂復活ライブ 神保町ウォーキング)シューズ開発
 神保町書店街テラトリアジオ設立 神保町個人飲食店応援

●展示全体についてお気づきの点、ご感想をお願いします
 コメント

●お名前(可)算可
 ()

●所属
 1. 在校生 学部 () 学科 () 学年 ()
 2. 一級 3. 卒業生 4. 教員 5. 学内教員
 6. その他 ()

●どのようなきっかけで本展示会を知りましたか?
 1. 学内のポスター 2. インフレット 3. たまたま立ち寄った
 4. その他 ()

ご協力ありがとうございました

図9 共立祭のパネル展示におけるアンケート